

マスクができない子 もいるよ！



まわりにマスクをしていない子がいたら、
「マスクをしなきゃいけないよ！」と言う前に、
「どうしてあの子はマスクをしていないんだろう？」
とかんがてみましょう。



マスクをするとあたまがいたくなる、めまいがする、かおがはれてひりひりする、いきがくるくなる、きも
わるくなる、といった理由でマスクをつけられない子がいます。



マスクをするとあたまがいたくなる、いきがくるくなる。



そんなときは一人でもがまんしないで、すぐに学校の先生やおうちの
人にそうだんしよう。

マスクができる子もいれば、できない子もいるよ。
一人ひとりのちがいをわかりあって、みんな仲良く
できたらいいね♪



保護者・地域のみなさまへ

マスクが感染予防対策として定着している中で、感覚過敏、皮膚の病気、呼吸器の病気といった
様々な理由で、マスクの着用が困難な子どもたちがいます。

マスクを着用できない子どもたちに対して差別や偏見が生じることのないよう、また、本人の意に
反してマスクの着脱を無理強いることにならないよう見守りをお願いします。

お子さまが上記の理由でマスクを着用できない場合は学校へ相談してください。

※マスクについては、屋外では原則不要です。人と近距離で会話をする場合は着用が推奨されます。
屋内では人との距離が確保でき、会話をほとんどしない場合は、着用不要です。基本的な感染対策は
メリハリをつけて、マスクは場面に応じた適切な着脱に努めていただくようお願いします。

【参考資料】

- 厚生労働省「マスク等の着用が困難な状態にある発達障害のある方等への理解について」
- 厚生労働省公式ツイッター
- 福岡県飯塚市教育委員会作成リーフレット「マスクができない子もいるよ！」
- 俱知安町教育委員会作成リーフレット「マスクができない子もいるよ！」